



いずみもゆく



「発掘された日本列島 2012」展 参加中！！

● ● ● ● 開催日程 ● ● ● ●

○開催館名

東京都江戸東京博物館
(東京都墨田区)

○開催期間

6月12日～7月29日

この他に青森県、静岡県、大阪府、鳥取県で開催されます。詳しくは、生涯学習課(本庁3階)備え付けのチラシをご覧ください。



日本では、毎年8千件近くの埋蔵文化財発掘調査が行われ、数多くの成果が日々蓄積されています。これらは一つとして同じものがなく個性的で、その地域ごとの文化や歴史を私たちに伝えてくれるものです。

文化庁では、多くの人ができるだけ早く、発掘調査の成果を見ることができるよう、特に注目すべき出土品を集め、全国を巡回して展示する「発掘された日本列島」展を開催しています。



本物の「いずみ」は
どっち?!
資料館で行った投票結果と正解のお知らせ

ケースに並ぶ2つの「いずみ」。片方は本物、もう一方はレプリカ(複製品)です。

さて、皆さん、本物がどっちか見分けられますか?

向かって左をA、右をBとし、入館者に呼び掛けて「本物!」と思う方に投票してもらいました。

投票の結果は、Aが113票、Bが82票でした。

正解はA。正解者がやや多い結果となりましたが、投票用紙片手に皆さん相当悩まれた様子。レプリカを作ったプロの技に、大人も子どももびっくりしていました。

今年度実施される「発掘された日本列島2012」展においては、20の遺跡、約580点の出土品が展示されていますが、そこに常陸大宮市から泉坂下遺跡が選出されました。

泉坂下遺跡はまだ謎が多い弥生時代中期の再葬墓遺跡として注目を浴びていて、平成17年度の学術調査の成果を全国に広めるために選出されたのです。これは常陸大宮市を全国にPRするよい機会でもあります。

各地で展示が行われるため、人面付土器「いずみ」を始め泉坂下遺跡出土遺物の一部は、これから約9ヵ月をかけて全国行脚していきます。

長い旅路となりますが、「いずみ」たちの活躍に期待しましょう。



～調査報告書をわかりやすく解説～

ダイジェスト版発行!

「画報 泉坂下遺跡—人面付土器を伴う弥生時代中期の再葬墓群—」

(監修: 鈴木素行) 500円

※数に限りがあります。お早めにお求めください。

歴史民俗資料館大宮館 ☎52-1450